

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
自己実現 [自立] 自ら学び、生き方を切り拓く (知) [共生] 認め合い、心身共に健やかに生きる (徳・体) [飛翔] 地域社会・国際社会に生きる (公・開)	<自分づくりに関する力>

(2) 中期取組目標

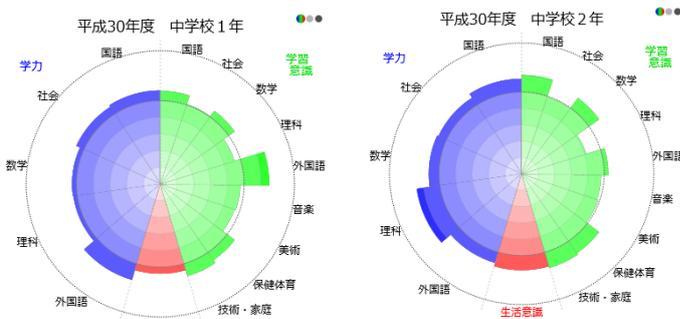
中期取組目標
生徒の自己実現を支援する。 ・生徒一人ひとりの「自立」と「協働」を育む。(挨拶から始まる規範意識の向上と自尊感情を高める。) ・共通の目標達成を目指し、組織で動く。(全教職員による学校経営への参画意識を高め、課題解決に努める。) ・人とのつながりを大切にする。(生徒・教職員・保護者・地域の連携を強める。)

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 教育課程委員会 学習指導部	①教育の目的・目標の達成に向けた教育課程の見直しを行う。 ②3年間を通して情報活用能力等、今後の社会で通用する資質能力を育成する授業を実践する。 ③生徒が主体的・対話的に深く学べる授業づくりを実践する。

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析 ※学年は昨年度のもの



全体的に見ると、学力は横浜市の平均を上回っている。特に国語、1年の英語、2年の理科が際立っている。しかし、学習意識では、国・数・英が高めであるのに対し、社会・理科はそれほどでもない。また、保体・技家の意識が高いのに対し、音楽・美術の意識は市の平均程度かやや低めである。「授業はどの程度わかりますか」の間に対する回答で、「よくわかる」の割合が市の平均よりも少し低めの教科があった。

(2) 本校の傾向と今後の課題

- ・生活意識調査では、市の平均よりも「睡眠時間」が多めで「朝食を毎日食べる」率が高く、「スマホ・インターネット等の時間」が3時間以上と回答した割合が少なめだった。これらに気をつけて生活していることも学力の支えになっていると思われる。また、「横浜の時間」が好きと答える生徒の割合が高めなものここ数年のよい傾向である。しかし、「1日の読書時間」が少なめだったり、社会科の「ニュースを見ているか」の間に「よく見る」と答える生徒が少なめだったりすることは引き続きの課題である。
- ・「勉強が好き・どちらかといえば好き」と答える生徒の割合が1・2年とも市平均より多い。これを生かすため、「よくわかる」「新たな疑問を持つ」「より深く考える」「わからないことは自分で調べる」生徒が増えるように、各教科ともさらに授業方法を工夫する必要がある。